

工学部新聞NO.5

発行 平成22年10月4日



国際交流で 輝く笑顔!

※本紙のカラー版は工学部HPで公開中です。 <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/shinbun/>

~目次~

1ページ

- ・工学部国際連携サマープログラムを実施!!
- ・工学部新聞発行1周年を迎えて

2ページ

- ・科学フェスティバルinよねざわ2010を開催!
来場者数2129人!!
- ・未来の山大学生へ～オープンキャンパス2010～
- ・OBインタビュー
電気電子工学専攻修了 小林 佳和 さん

3ページ

- ・中村修二先生講演会が開催されました
- ・今、輝いている学生たち!!

4ページ

- ・「地域魅力発見バスツアー」～中小企業の現場へ～
- ・「YUM」って知ってる??
- ・米沢商店街ツアーに参加しよう!
- ・今後のお知らせ
- ・編集後記

差し込みページ

- ・平成22年10月9日(土)同時開催イベント一覧
- ・百周年記念会館の紹介
- ・野球大会&雪台戦大会の紹介
- ・吾妻祭の紹介

工学部国際連携サマープログラムを実施!

8月3日から11日の8日間、「工学部国際連携サマープログラム2010」が行われ、中国人7名、マレーシア人2名のゲスト大学生と、21名の山形大学の学生スタッフが参加しました。学生たちは英語や中国語、日本語でコミュニケーションしました。プログラムの中には、7, 8人のグループでの蔵王や仙台、松島、米沢への小旅行などもあり、日本を満喫しました。

9人のゲスト学生は日本語の勉強や英語での工学系の授業、ホームステイなどを通して、等身大の日本を感じたのではないのでしょうか。スタッフの方もこのプログラムを通して自分の成長を実感し、もっと国際交流をしたいと刺激を受けたようです。



参加学生の声

齊藤 龍真さん (スタッフリーダー)

「宗教、文化、国境も越えて『気持ち』を共有出来たことは嬉しい。『外国人と話したい』その気持ちがあれば、国際交流は誰にだって出来る」

サキブさん (マレーシアのゲスト学生)

「日本人が英語で話しかけてくれて驚いた。サマープログラムで面白い日本人や中国人の友達が出来たし、以前に比べ積極的な人間になれた。ありがとう」

秦 超群さん (中国人の留学生スタッフ)

「日本語や中国語を通訳して、日本人のスタッフとチームワークを大切にしながら、グローバルコミュニケーションが出来ました。日本人や海外の友達もたくさんでき、大変よい経験でした」

工学部新聞発行1周年を迎えて

創刊1周年を迎え、工学部も創立100周年の節目の年になりました。

1年間を通して、たくさんの学生の活動取材してきました。これまでを振り返ると、たくさんの頑張っている熱い学生に出会うことができ、私自身も楽しく活動できました。これからも色々な場面で活躍している山大学生や工学部の情報を紹介していこうと思います。これからもよろしくお願いたします。



創刊号 (2009年10月5日) から第4号 (2010年7月7日発行) まで

科学フェスティバルinよねざわ2010を開催! 来場者数2129人!!



7月31日(土)・8月1日(日)に小中学生を対象にした「科学フェスティバル in よねざわ2010」が開催されました。3回目となる今回の科学フェスティバルでは、サークルや研究室など47のブースが出展し、2日間で延べ2129名の親子連れが会場に足を運びました。内容に合わせて、対象を小学校低学年以上と高学年以上に分け、子どもたちの「どうしてこうなるの?」との疑問に、先生や大学生が分かりやすく説明していました。

廣瀬研究室(電気電子)の「ラジオアナウンサー体験、みてみよう音の波」では、訪れた子どもたちにオシロスコープで自分の声を測定する実験をしました。目には見えない声が波となって現れることに子どもたちは目を丸くしていました。実際に、自分の声を電波で飛ばし、キャッチしたラジオから自分の声が聞こえると、思っていた声とは違ったようで驚いている様子でした。また、古川研究室(機械システム)の「わたあめを作ろう!」では、わたあめ作りの装置を自分たちで作り、実際にわたあめを作りながら、装置の仕組みや原理について学んでいました。これらのほかにも紙飛行機作りや化粧品作り、有機ELなど、身近な現象や普段は体験できないような最先端の技術に触れ、子どもたちは目を輝かせながら、科学の「楽しい!」「面白い」を肌で感じていたようでした。

未来の山大生へ ~オープンキャンパス2010~

8月6日(金)、山形大学工学部でオープンキャンパスが開催されました。猛暑日が続く中、晴天ということもあり多くの高校生が朝早くから参加し、いつも以上に工学部キャンパスは活気に満ちていました。

学科説明や模擬講義では、各学科の先生方が高校生にも分かりやすく、少しでも多くの情報が伝わるように工夫し、説明されていました。午後に行われた有機エレクトロニクス体験ゾーンでは多くの生徒が最新の技術に触れ、感動し、興味を持ったようでした。

また、研究室見学や相談コーナーでは、学部生が一つ一つ丁寧に教えている様子が見受けられました。まだ学科をどこにするか悩んでいる高校生からは「研究室を見て、この学科に興味湧いた」という声も…!他にも、「体験授業が面白かった」、「研究室見学が楽しかった、参考になった」などの感想も聞かれました。

このオープンキャンパスを通して、資料だけではなかなか伝えきれない工学部の魅力を肌で感じ、高校生にとっても、大学生にとっても有意義なものになったのではないのでしょうか。



OB・OGインタビュー

1986年電気電子工学専攻修

こはやし よしかず

小林 佳和 先輩 ※写真中央



略歴

NEC(株) 企業ソリューション事業本部 企業ネットワーク開発本部 グループマネージャ。発明賞として有名第24回市村賞を受賞しているほか、なんと日本に7人しかいない、「マイクロソフトMVPアワード”Microsoft MVP for Microsoft Office Communications Server (2007)”と”Communications & Collaboration - Communications Server (2008、と、2009)”を受賞!

今回は電気電子工学専攻の修了生、小林佳和先輩にインタビューしました。

「自慢できる学生生活ではなかった」と語る小林先輩は、インスタントラーメンを箱買いしたり、リポビタンDを飲みながら研究を頑張っていたとのこと。「サークルや研究室の先輩との出会いで、人生を盛り返した」、「大学で学んだことは仕事やサークルなどの人付き合い。山形大学では、そんな経験ができる」と語っていました。また、ゼミのテキスト作りが功を奏して、「パソコンLANとインターネット技術」などの多数の著書の作成につながったそうです。最後に、「人生はリスクを背負ってチャレンジする山登りのようなものだ。リスクをとらずに成功はない!学生のうちに、様々な事を経験して欲しい!」と仰っていました。小林先輩の話や聞きと、親しみを感じました。インタビューから大学生活で得られるものは何か、どう頑張るべきかを考えさせられました。

中村修二先生講演会が開催されました

9月6日（月）、青色LED開発で有名な中村修二教授（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）の特別記念講演会が、山形県立米沢興譲館高校で行われました。先生は約1000人の高校生や一般人を前に、「自分の本当に好きな事をする事」について述べられました。ご自身の大学進学の際に、希望していた理学部ではなく就職に有利な工学部に進学したことを今でも後悔していることから、「皆さん、好きな事をしてください」と述べられました。

その後、「理系の人が持つべきベンチャーマインド」について、「高学歴の大学を出て大手企業に勤めるのが日本のエリートですが、アメリカのエリートは起業したり、ベンチャー企業に入社します」と日米を比較しながらご説明されました。

先生は徳島大学で修士号を取得後、「日亜化学」に就職されました。10年の下積み時代に培った技術を基に製作器具を改良したら、青色LEDが出来たそうです。しかし、中村さん個人は会社への貢献と比べ、低い収入しか得られなかったそうです。この現状では日本の工業は発展せず、他の先進国に取り残されていくのではないかと危惧しているそうです。この現状を打破するためには、「ベンチャー精神」を持った理系の人間が必要だということでした。

世界的に有名な科学者の講演は、冗談も多く、終始笑ってしまいました。中村先生の熱い情熱に触れ、好きな工学の勉強をもっとしたいと思いました。



今輝いている学生達!!

学会等での表彰一覧

「Best Poster Presentation Award」!

いわき のりるみ
岩崎 統史 さん 平成22年8月5日受賞
機能高分子工学専攻（西岡研究室）
題目：Relationship between Rheology and Crystallinity of Rice Starch Obtained by Our Novel Method

本学部には、数々の学会やサークルの大会等で優秀な成績を修めている学生が大勢います！その一部を、ここにご紹介します。

「プラスチック成形加工学会年次大会 ポスター賞」!

あべ てつお
安部 哲生 さん 平成22年6月2日受賞
機能高分子工学専攻（宮田研究室）
題目：ヒートシール時のフィルム界面に及ぼす結晶化の影響

「Outstanding Poster Presentation Award」!

すずき つばさ
鈴木 翼 さん 平成22年9月10日受賞
機械システム工学専攻（飯塚研究室）
題目：Electric Properties of Composite Materials with Rice Hull Carbon

「新材料工学研究会 最優秀賞」!

ありかわ とおる
有川 徹 さん 平成22年9月1日受賞
機械システム工学専攻（村澤研究室）
題目：走査型電子顕微鏡の画像を用いた固体材料のマルチスケール変形分布計測システムの開発

「新材料工学研究会 優秀賞」!

はが こうじろう
芳賀 宏次郎 さん 平成22年9月1日受賞
機械システム工学専攻（村澤研究室）
題目：クモの糸・巣の構造観察とそれらの変形挙動

「日本分析化学会東北支部若手交流会優秀発表賞」!

しぶや かほこ
渋谷 佳奈子 さん 平成22年7月3日受賞
物質化学工学専攻（水口研究室）
題目：トラックエッチ膜を母体とする二重電極の作製と機能評価

「地域魅力発見バスツアー」～中小企業の現場へ～



9月14日から17日までの3泊4日にわたって県内の中小企業10社を回り、県内中小企業の魅力を知るバスツアーに学生20名が参加しました。「電流道場」と名付けられたこのツアーは、期間内に「自分を見つめなおし、自分らしさを出す」という目的も含んでいました。はじめは不安だった参加者たちも、各社長さんの熱意や様々な考え方に触れ、大きく影響を受けたようでした。学生や教員との毎晩のディスカッションでは、グローバル化や質問力、抵抗力などをテーマに、様々な分野に関する意見を、訪問した企業の方々を交えて論じあったりしました。初めは自分の意見を話すことに消極的だった参加者たちも、次第に積極的に話すようになっていきました。

今回のツアーでは、日常生活では関わるることのできない会社の社長や幹部の方々へ直接考えを尋ねたり、質問したりすることができました。参加した学生にとって、今後の学生生活を充実させる非常に良い経験になったのではないのでしょうか。

「YUM」って知ってる??

YUM (山形大学マガジン) …学生による学生のための情報サイト

※URL <http://www.yamagata-university.jp/>

山形大学ホームページ右上YUMのリンクがあります。

全学部のサイトですが、工学部に関しては、吾妻祭実行委員長のインタビューや、米粉パンのレビュー、100周年記念館についての情報等がのっています。他にも、YUMの編集員や記者が、投稿されてくるアイデアや企画を皆に代わって実行します。YUMトップページの意見募集バナーから、アイデアを応募して下さい。「サークルの作品や動画をサイトに載せて下さい」というような投稿が最近多いです。

記者や編集員の仕事をやるYUMのスタッフも募集中です。

このバナーが目印

山大学生が創るWebMagazine
YUM! 山形大学マガジン「ヤム」

米沢商店街ツアーに参加しよう!

前回の工学部新聞でも報告しましたが、「アットストリート」は「米沢の商店街を案内するツアー」を目的に企画している学生グループで、現在は4名で活動しています。

10月30日に第2回目のツアーを開催予定で、米沢市の立町とあら町を訪ねながら、商店街の方と交流を深めるもの。参加学生のプロフィールを書いた「絆カード」の作成や、メーリングリストによる限定お得情報の送信など、面白そうな内容です。興味のある方は以下のアドレスまでご連絡ください!

Mail : at-st-yz2010@yahoo.co.jp



今後のお知らせ

○ひらめき☆ときめきサイエンス 有機の光を体験しよう

中学生を大学に招き「有機EL」について様々な体験してもらいます。城戸先生から「有機ELはどんなもの?」について教えてもらったり、実際に有機ELを作ったりします。

日時：11月13日(土) 10:00~16:00

○工学部合同企業説明会

日時：11月6日(土)、7日(日)、23日(火)

9:00~17:00

場所：工学部体育館

備考：参加企業数 3日間で約300社。

問合せ：工学部学生・就職支援担当 (TEL:0238-26-3017)

○成績優秀な学生に対する留学支援について

山形大学校友会平成22年度事業として「成績優秀な学生に対する留学支援」事業が採択されました。本学部に在学する成績優秀な学生に対し、次のとおり留学支援を行います。

○対象活動 平成22年4月~平成23年3月に出国する

- ・国際的な学会への出席
- ・語学研修
- ・海外での共同研究等

○対象者 TOEICの成績優秀な者

○支援額 往復の旅費(滞在費は含まない)

○問合せ 工学部学生・就職支援担当 (TEL:0238-26-3017)

編集後記

ついに、この工学部新聞も創刊1周年を迎えることができました☆今回は、夏休みに夏の暑さに負けないほど熱く活動していた学生を多く取材できました!!

これからも元気な山大学生を追いかけたいと思います。応援よろしくをお願いします。

学生編集員を募集しています。掲載情報もお寄せ下さい!

一緒に新聞を作ってください学生編集員を募集しています☆

また、サークル活動の成績や各種の受賞・表彰など、工学部新聞に掲載する情報もどしどしお寄せ下さい! 連絡お待ちしております!!

Tel 0238-26-3419 E-mail koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



百周年記念会館の中にカフェが!

「Cafe吾妻」10月13日開店!



お昼はガラス張りのお洒落なカフェでどうぞ!

平成22年10月9日(土) 工学部で多数のイベントを開催!!

10月9日(土)の工学部は多数のイベントで大賑わいです。
今年しか見られない貴重なイベントもあるので、下記一覧にて要チェックしてください。
また、10月9日~11日の3日間で行われる祭については、裏面に詳しく掲載!

10月9日(土)同時開催イベント一覧

- 米沢工業会理事会・評議会 (9:45~10:45)中示範C教室
- 米沢工業会総会 (11:00~12:00) 中示範C教室
- 保護者の集い
(10:00~11:10)大示範教室/分科会(11:10~12:00)4号館各教室
- 企業出展ブース (9:30~13:00)4,5号館
先輩(米沢工業会員)による企業説明会
- 第4回ホームカミングデー (13:00~14:10)大示範教室
講演:「米沢高等工業学校初代校長 大竹多氣」大竹俊樹氏・江副隆愛氏
- 百周年記念会館落成式典 (14:30~15:20)大示範教室
式典に引き続きテープカット・見学会
- 第10回重要文化財コンサート ルネサンス・カフエ癒しの響き
(会場14:30開演15:00)重要文化財2階
メゾソプラノ:相可佐代子 ピアノ:長野真保
- 祝賀会・懇親会 (16:00~18:00)グランドホクヨウ
- 吾妻祭 (10/9)米沢女子短期大学(10/10-11)工学部
- 米沢高等工業学校初代校長 大竹多氣展 (10/9-15)図書館3階
開場9:00~16:00(但し10日11日は13:00~16:00)



百周年記念会館・野球大会 & 雪合戦大会

今年もやります!

工学部100周年記念事業

野球大会&雪合戦大会!!

野球大会

工学部100周年記念「工学部長杯野球大会」を今年も開催します。応援よろしくお祈いします!

【予選リーグ】

開催日: 10月7日(木) 場所: 工学部グラウンド

【決勝トーナメント】

開催日: 10月13日(水) 場所: 皆川球場

【出場チーム(8チーム)】

米竹研究室(機能高分子)、田中・水口研究室(物質化学)、未定(機械システム)、南谷研究室(電気電子)、深見・湯浅研究室(情報)、井上研究室(応用生命)、城戸研究室(前年度優勝)、教職員

雪合戦

開催予定日: 各学部予選1月22日(土)

本戦 2月12日(土)、13日(日)

今年も山形大学6学部の学生による学部対抗雪合戦大会が行われます。については雪合戦の実行委員を募集しています。興味のある方は、下記連絡先にご連絡ください。

雪合戦実行委員会委員長(江田)

Mail: n. b. c. b. m. 11161965. y. o@docomo. ne. jp

百周年記念会館、完成!!

今年の3月より米沢キャンパス内に建設を進めていた「山形大学工学部百周年記念会館」がついに完成!会館の中には、セミナーホール、カフェ、迎賓室などが設置されており、100年の輝かしい歴史とのふれあい・人とのふれあいを大切にしたい創造性豊かな活動が行える場所となっています。

落成式典については、上記イベント一覧をご覧ください。

名称: 山形大学工学部百周年記念会館/The 100th Anniversary Hall

設計: 高宮真介(株式会社 計画・設計工房)

階数: 地上2階

建築面積: 650.25

延床面積: 894.06

構造: 鉄筋コンクリート造・鉄骨造



第16回吾妻祭を開催します

開催期間：平成22年10月9日(土)～11日(月)
9日会場 米沢女子短期大学
10日・11日会場 山形大学工学部

～吾妻祭とは？～

吾妻祭とは、山形県米沢市の山形大学工学部と米沢女子短期大学が合同で行う学園祭です。

今年のテーマは『Link～僕らが繋ぐこの瞬間～』

10月9日(土)から11日(月)の3日間で行われる吾妻祭は、今年で16回目を迎え、百周年という節目の年に吾妻祭実行委員会の皆さんも気合十分です。

今年のテーマは『Link～僕らが繋ぐこの瞬間～』。

吾妻祭に参加し、様々な人と出会い同じ時間を共有することで繋がってほしいという願いを込めたテーマだそうです。

今年のオススメ

9日は米沢女子短期大学を会場とし、様々な企画が開催されます。

今年のゲストアーティストは清水翔太さんです。1200枚のチケットが完売することは、吾妻祭始まって以来、初めてのことだそうです。駐車場が不足することが予想されますので、開催中は公共交通機関や自転車などでの移動がオススメです。

10日は「テーマ企画」ということで、参加して楽しめる企画が盛りだくさんです。今年初めて行われる「Link企画」はスタンプラリーやドミノなど協力して参加者と繋がる企画だそうです。またクイズにも力が入っているということでした。

たくさんある企画の中でも、特にオススメは、毎年整理券がすぐになくなってしまいうほど人気の「お化け屋敷～学校へ逝こう～」だそうです。15時30分より図書館前で整理券を配付し、16時30分から旧3号館で行われるそうです。夜の学校で、この夏最恐の思い出を作ってみるのはいかがですか？

特設ステージの紹介

山大特設ステージでは、10日・11日の2日間にわたって、サークル等の発表を見ることができます。毎年ステージを盛り上げてくれるサークルをはじめ、今年は「アカペラサークルLein」、「お笑いサークル laugh time」、漫才コンビの「一興」の3つの団体が初出場します。

また、11日は「ボクラノキズナ～ステージ2010～」と題し、実行委員の皆さんが企画したイベントが開催されます。皆さんが参加できるクイズやコンテストには、豪華賞品も用意されているということなので、どんどん参加しましょう。

実行委員からのメッセージ



副実行委員長 沼田 文菜さん
(米沢女子短期大学国語国文科2年)

実行委員は去年よりも更に上を目指そうと頑張ってきました。去年よりも2倍も3倍も面白い吾妻祭を学生の皆さんにも楽しんでほしいです。

今年の吾妻祭は、初めて米沢女子短期大学でも休日に開催されるので、たくさんの人に来ていただきたいです。



実行委員長 丹野 優樹さん
(工学部電気電子工学科3年)